

本年度の教友会事業より 「埼玉大学創基百五十周年記念年表」 寄贈

一 年表披露式

○期日 令和六年
十一月二十三日(土)

○式場 教育学部A棟二階
エデュスポ

○式次第

- 一 開式の辞
- 二 松澤会長 挨拶
- 三 除幕
- 四 戸部学部長 挨拶
- 五 作成者(金子顧問) 挨拶
- 六 閉式の辞



◇除幕◇



◇年表と作成者の金子顧問◇

二 年表作成の経緯

埼玉大学ホームカミングデー二〇二三において「埼玉大学創基百五十周年」を記念する特別講演が企画され、教友会金子美智雄顧問に講演の依頼がありました。タイトルは、「埼玉県改正局・埼玉県師範学校から埼玉大学へ」。

明治六年旧埼玉県庁内(元浦和本陣)に改正局を設置してから令和五年には、創基百五十周年を迎えました。

金子顧問は、埼玉大学に關係する各種の記念史や現地に足

を運んで集めた資料等をもとに二百数十枚のパワーポイントを作成・印刷・配付しての講演で、大変好評でした。(講演要旨は、教友第九十四号、二十六〜二十八ページ参照)

その後「あの資料を記念に残せないか」という要望が各方面からあり、埼玉大学創基百五十周年の年表として残すことになりました。

埼玉大学開学七十年の時には、「埼玉大学同窓会」から埼玉大学に対して年表の寄贈を行いました。この年表は埼玉大学図書館の一階に掲示されております。

三 年表の構成

創基百五十周年記念の歴史年表は三段構成となっており、中央の段は主な出来事と関係する人物、上の段は校舎・建造物などの写真、下の段は出来事の解説からなるもので、縦幅九センチメートル、横幅五メートルの大作となっております。

さらに、補説の写真が年表の上と下に十数枚掲示されましたので五段式の年表となります(次ページ写真参照)。

設置場所は、教育学部A棟二階エデュスポです。第二代埼玉県令白根多助が百四十五年前に著作した扁額の隣の壁になります。

四 埼玉県改正局の設置、師範学校の開校から鳳翔へ

明治五年に学制が頒布され、その直後に埼玉県師範学校の開校を申し出たのは、時の県令野村盛秀でした。しかし、文部省が許可しなかつたため、一歩下がって県庁内に改正局の設置を申請、これは直ちに許可となりましたが、明治政府から派遣されたのは、薩摩藩・長州藩を中心にした士族でした。

ことに肥後(熊本県)出身の清浦奎吾と野村の後を継いだ第二代県令白根多助は、埼玉県の教育に尽力された方でした。白根は師範学校の規模の拡大を目指して現在の埼玉会館の地に新校舎を建設。明治天皇行幸の際、行在所として視察に見えたのが時の太政大臣三條實美。三條は「何と素晴らしい校舎、鳳が翔びたつが如し、まるで御殿の様」と称賛。そして、「鳳翔閣」と命名されました。時の県令白根多助は「教化風光文奎照」という扁額を掲げ、明治天皇をお迎えしたと言われています。

白根多助は県立の「医学校」も開設しましたが、第一回県議会会で否決され、廃校となりました。

五 紆余曲折を経て開学した埼玉大学

昭和二十二年三月三十一日の国会において、教育基本法と学校教



◇埼玉大学創基150周年を記念する年表(年表部分 縦幅90cm 横幅500cm)◇

育法が發布され、小・中学校は昭和二十二年四月から、高校は二十三年、大学は二十四年四月から開校・開学と決まりました。

埼玉県においては昭和十八年に埼玉師範学校、十九年には埼玉青年師範学校が官立となり、すでに官立として開学していた浦和高等学校は大学昇格に向けて、それぞれ違う道を模索していました。ことに浦和高等学校は東京大学のジュニアコースとしての道を目指していました。

しかし最終的には国の一県一大学の方針によりすべて否決。埼玉大学の開学に尽力したのが初代学長となる新関良三でした。浦和高等学校の教員の人事異動もほぼ決まっていたが「東大に行きたい人は行ってくれ、埼玉に残ってもよい人は残って欲しい」と説得され、大多数の教員は埼玉大学に留まり文理学部の設置に貢献されました。

最終的には埼玉師範学校と埼玉青年師範学校が教育学部に昇格、旧制浦和高等学校が文理学部となり、昭和二十四年五月三十一日の国会で議決・承認され、国立埼玉大学が誕生することになりました。



◇教友会役員・学年理事・大学関係者との記念撮影◇

六 大久保への移転と学部改組

埼玉大学は昭和二十四年に開学してから約十年後、大宮市議会から工学部の設置を要望され、これを皮切りに、「浦和市・埼玉県・埼玉大学・文部省」による工学部の設置と

学部改組の検討が開始されました。最終的には土地の交換となり、浦和高等学校の地、北浦和キャンパスは埼玉県と浦和市(現さいたま市)、埼玉師範学校の地、常盤キャンパスは浦和市の所有となり、そして埼玉大学は大久保の地への移転が決まり、校舎建築・移転と学部改組が同時進行的に開始されました。その後、平成十六年、国立埼玉大学は「国立大学法人埼玉大学」と法人化され、現在に至っています。

七 年表の内容をパワーポイントの動画で解説・公開

さらに、年表にQRコードを付けて、パワーポイントの動画解説も視聴できることになり、披露式で公開されました。

これもYouTubeにて動画配信することになりましたので、外部からもアクセス可能です。

●下のQRコードからアクセス可能です。また、「YouTube・埼玉大学創基百五十周年記念」でもアクセス可能です。

●「埼玉大学の今昔」については下のQRコード及び「YouTube」



「YouTube」でアクセス可能です。